

会 議 録

| | | |
|---|--|--|
| 会 議 の 名 称 | 第1回川島町総合振興計画審議会 | |
| 開 催 日 時 | 平28年7月7日（木）午後2時から3時50分 | |
| 開 催 場 所 | 川島町役場 2階大会議室 | |
| 議 題 | (1) 川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について (2) その他 | |
| 公開・非公開の別 | 公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開 | |
| 非公開の理由 (非公開の場合のみ) | | |
| 出席者 | 委 員 | 西村委員、五島委員、鈴木委員、南間委員、今井委員、岩山委員、大野美寿代委員、松上委員、矢田堀委員、矢内委員、国本委員 |
| | 事務局職員 | 政策推進課 内野主幹、伊原主査、品川主事 |
| 配 布 資 料 | 会議次第、資料1～2、当日配付資料1～3 | |
| 審議会等の内容・概要 | | |
| <p>1. 開 会</p> <p>（事務局より会議の開会にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議録を公開するが、発言者名は記載しない旨で委員より了解を得る。）</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>会 長：議事に入る前に、議事録署名委員を指名する。五島委員と大野美寿代委員に お願いする。</p> <p>3. 議 事</p> <p>(1) 川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について</p> <p>（事務局にて、資料1、資料2を用いて説明。KPIを設定している事業は評価内容 に関しても意見をいただく。）</p> <p>○予防接種情報提供サービス事業</p> <p>委 員：子育て応援ナビの平成27年度の登録者数202人は、新生児のみの数ではな</p> | | |

いと思うが、年齢ごとの内訳はあるか。また、出生数とほぼ同数で増加とあるが、出生数はどれくらいか。

事務局：現在担当課では年齢ごとの登録者数は調査していない。しかし、分析等の際に必要なようになってくる情報なので、今後は調査していくとのこと。また、平成27年度の出生数は94人であった。

会長：この目標値は累計で考えるのか、単年度の登録者数で考えるのか。

事務局：累計で考えている。

会長：年齢が進むに連れてアプリ自体が必要なくなる登録者も出てくる。累計で見ると視点も必要だが、新規登録者や内訳の調査も必要である。

委員：この事業は子育てに係るものであるが、高齢者等も予防接種を受ける機会はある。子育てに限らず一般の方も利用できるようになればより便利である。

事務局：このアプリは、子育て用に開発されたものを、使用料を支払って使用している。町単独でアプリを開発することはできないが、いただいたご意見は担当課に伝達する。

会長：この事業のKPIは、単年度で達成しなければならないものではない。平成31年度までに350人の登録者を目標としているところ、現段階で202人が登録されている。順調なペースであると考えられるので、評価はAとする。

○平成の森公園あかちゃんの駅充実事業

会長：この事業は、元々あったものをリニューアルしたのか。

事務局：授乳施設等を新たに設置したものである。

委員：どのくらい経費がかかったのか。

事務局：約85万円である。

委員：平成の森公園には何度か訪れているが、このような施設があることを知らなかった。あって困るようなものではないので、表示を分かりやすくするなど、周知が必要と感じる。

委員：2歳くらいの子どもがトイレトレーニングをできるような体制も整えてもらえば、子どもを連れて遊びに来やすくなる。

事務局：いずれも貴重なご意見なので、担当課へ対応を依頼する。

会長：この事業はKPIを設定していないので、意見を今後の事業展開に反映して

いただきたい。

○子どもの遊び場整備事業

会 長：緊急度の高いものから整備したとあるが、危険な箇所から整備したということではよいか。

事務局：見込みの通りである。

会 長：順調に推移しているので、評価はA判定とする。

○放課後児童クラブ学習環境整備事業

会 長：備品購入や施設修繕を行ったとのことだが、クラブの需要に応じて対応したということか。

事務局：見込みの通りである。

会 長：そうなると、需要にどの程度対応したかということも調査する必要があるかもしれない。経費はどのくらいかかったのか。

事務局：3箇所で約183万円である。その内、120万円は交付金が充てられている。

委 員：単年度事業となっているが、今後整備する場合は町予算での対応となるのか。

事務局：見込みの通りである。

委 員：修繕等の建物の管理は町が行い、運営は民間で行っているということか。

事務局：見込みの通りである。

会 長：この事業はKPIを設定していないが、今後必要に応じて適切に整備を行っていただきたい。

○川島町第3子以降私立幼稚園保育料無料化事業

会 長：この事業のみで測定するものではないが、この取り組みに係るKPIについても事務局から説明があった。この評価値に関しても併せてご意見をいただきたい。

委 員：近隣自治体で、第3子以降の保育料を無料にしているところはあるのか。

事務局：保育園の保育料無料化を実施している自治体は多いが、県内では先行して第3子の年齢制限を撤廃して実施している。私立幼稚園の保育料という点でも実施している自治体は少ない。近隣では東松山市が私立幼稚園の保育料無料

化事業を行っている。

会 長：所得制限等は無く、申請すれば無料になるのか。

事務局：第3子と認められた時点で無料としている。保育園が先行して実施していたが、当町では幼稚園も同様に扱うために実施した。

委 員：無料化としているが、一度保育料を支払ってから後で同額が戻る仕組みである。この仕組みだと、無料となっていることの実感に欠ける。一度支払うこと無く無料となるようにしていただきたい。

事務局：国の制度が関係する事業なので、町単独で対応することはできないが、いただいたご意見は担当課に伝達する。

会 長：事業自体は効果が期待されるので、今後も推進していただきたい。

○入園祝い金事業

会 長：私立幼稚園「等」とあるが、私立幼稚園以外は何が該当しているのか。

事務局：認定こども園が該当している。町内在住であれば、町外の私立幼稚園等に通園していても対象となる。

委 員：この事業は他の自治体でも実施していない。この事業を理由に保育園から幼稚園に移ったという方もいる。非常に喜ばれる事業であるが、周知が不足しているように感じる。

会 長：どのような手段で周知しているのか。

事務局：広報紙や町のホームページで周知を図っている。

委 員：検診の際に周知をすれば、効果があるのではないかと。子育て関連の情報をまとめて周知をすれば、情報を提供される側にも伝わりやすい。また、町のPRにもつながるので、町外に向けた周知も必要と感じる。

事務局：担当課と調整し、実施する方向で検討する。

会 長：川島町第3子以降私立幼稚園保育料無料化事業と入園祝い金事業に係るKPIについては、順調に推移しているためA判定とする。

○地域防災力向上事業

会 長：平成31年度まで継続して実施していく事業であるが、今後の見通しはどのようなになっているのか。

事務局：今後は、自主防災会に地域で自主的に訓練を実施していただくよう支援していく。

会 長：その際は、交付金ではなく町単独の予算で補助をしていくのか。

事務局：見込みの通りである。

委 員：町が想定する主な災害は水害か。

事務局：地震についても当然想定するが、水害への意識は高い。町が想定する最大の水害だと、5m以上の高さまで水没する。このため、町庁舎も2階部分は浸水しないような設計となっている。地域での水害訓練の実施も推進している。

委 員：5m以上の高さまで水没した場合、町民は町外に逃げ切れるのか。

事務局：数時間かけて徐々に水かさが増えて行くため、極力早めに逃げるということになる。

会 長：水害については、寝ているような夜の時間への対策が必要となる。

事務局：町としては、夜になる前の夕方に避難させることを想定している。

会 長：この取り組みに関するK P Iについては、目標値を達成しているのでA判定で問題ないが、今後は他のK P Iで取り組みの進捗が測れるようにしてもらいたい。このK P Iは達成したから今後は何もしなくて良いということではない。例えば、自主防災訓練を実施した組織の数や訓練の件数等、取り組みが推進されるようなK P Iの設定を検討してもらいたい。

○こども 110 番の家に対する子どもたちの認識

会 長：この取り組みのK P Iに対する基準値が無いが、どういうことか。

事務局：認識度をこれまで測定していなかったためである。今回、小学生がマップを作成し、こども 110 番の家協力者と顔合わせを実施したことで認識度が100%となったというものである。

委 員：こども 110 番については、交通安全と防犯のどちらが主な目的か。

事務局：防犯である。

委 員：交通安全という視点で言うと、現在町内の小学校ではそれぞれ登下校時に着用する帽子が異なっている。今後小学校の統廃合も行われるが、町として、登下校用の帽子を統一して交通安全の機運を醸成するといった施策も検討

していただきたい。

事務局：担当課に伝え、対応を検討する。

委員：防犯には、カメラの設置を推進することが一番効果的である。

事務局：町では公園、学校、公共施設に防犯カメラを設置しているが、町内で広い面積を占めている田畑の中に防犯カメラを設置するのは困難である。小中学生自身が、一人で帰らない等の対策をすることも重要である。

会長：このKPIに関する評価はA判定とする。この指標は、毎年卒業と入学という入れ替わりが生じることから、継続的に測定する必要がある。しかし、矛盾するようだが、ただ認識していれば良いということではない。防犯や交通安全につながるような取り組みを〇〇件行うというような、2つ目の指標を検討する必要があるかもしれない。

事務局：担当課と調整して検討する。

○マスコットキャラクターPR事業

会長：特に意見は無いようなので、今後も事業を推進していただきたい。また、この取り組みのKPIに関する評価はC判定とする。

○観光マップ作成事業

委員：このマップは、関係団体との会議等で配付することは可能か。

委員：同様に、小学校で川島町の魅力を学習する機会がある。その際に配付することも可能か。

事務局：可能である。ご依頼に応じて対応する。

会長：配付場所の目標が30箇所のところ、8箇所の配付に留まったとあるが、今後も継続して依頼していくということでよいか。

事務局：見込みの通りである。

会長：川越市のような知名度の高い自治体に置いてもらうことは可能か。

事務局：川越市には既に配付している。

委員：カウンターに平積みされるような状況であると手に取ってもらえない。手に取ってもらえるような工夫が必要である。

(2) その他

(事務局にて、当日配付資料 2、3 を用いて説明)



会 長：K Jブランド創出プロジェクトについては、交付金の採否を受けて、次回改めて事務局から説明をいただきたい。

事務局：次回の会議は9月を予定しているが、その際は交付金の採否についてお知らせする。また、評価シートのうち、本日審議していない取り組みについても審議していただく予定である。また、総合戦略に掲げている取り組みで、担当課に詳細説明をしてもらいたいという希望があれば、担当者を同席させることで対応する。今後、総合戦略の改定が必要となった場合は、10月に審議会を開催して改定案について審議していただく。改定が必要なければ、年明けの2月に、平成28年度事業の進捗状況や平成29年度以降の取り組みについて審議していただく会議が、今年度最後の審議会となる予定である。

会 長：担当課からの説明を希望する場合は、いつ頃までに依頼すればよいか。

事務局：次回の会議資料を事前配付する。その資料をご確認いただき、詳細説明を希望する事業があれば事務局までご連絡をいただきたい。

4. 閉 会

| | |
|--------|---|
| 署 名 | 五島アツ子  |
| | 大野美寿代  |